

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	広島県呉市倉橋町石持154番地1号 (電話) 0823-50-2122		
自己評価作成日	平成26年11月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3473100562-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年12月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域の行事に参加したり、季節ごとの行事を行い、季節感を感じて頂いております。 また、買い物に出かけ食材を選んで頂いて、一緒に調理したりと、利用者の能力に応じて分担をさせて頂いております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は平成24年4月に開設され、風光明媚な桂浜に近く、静かで落ち着ける自然豊かな環境の中にある。敷地内には大きな畑や、松の木が並んで植えられているほか、蔵を思わせるような日本情緒あふれる外観でありながら、建物の中に足を踏み入るとグランドピアノをはじめ、西洋の邸宅を思わせるような雰囲気となっている。朝食や入浴の時間は、利用者のペースに合わせて職員が柔軟に対応しているほか、配達されてくる食事についても、利用者の希望に合わせて食事内容の変更ができるなど、利用者本位に運営されている。近隣のスーパーに出かけたり一緒に調理をしたりするなど、利用者が地域の中で生活ができるよう配慮されている事業所である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人々との交流を図り、地域住民と利用者がお互いに触れ合うことができる生活環境の場にしていけるように、心掛けている。	事業所の理念「思いやり介護」をもとに、利用者に対しやさしい言葉遣いを使用するよう管理者が日頃から指導しているほか、近隣のスーパーや近所の住人などへの挨拶を徹底するなど、地域に密着した運営を心がけるような取り組みがなされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	周辺に民家が無い場合、蛍の家便りを地域へ配布させていただき、閲覧していただいたり、地域の行事等を観に行く等し、交流を図るようにしている。	近所のスーパーへの買物のほか、小学校に対しては運動会への参加や保護者に対し、事業所の様子を紹介する便りを配るなど、近隣との付き合いを密にするような運営がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議の参加者、地域の住民との交流を図ることで、認知症の人々への理解と支援をいただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会長、民生委員、老人会長等に参加していただき、様々なことで助言をいただき、実践に努めている。また、開催日は、毎回参加しやすい日を考えている。	運営推進会議には、地域の役員に対し毎回声かけをしているほか、参加がかなわない場合でも議事録を配布し、事業所の取り組みについて理解を深めてもらえるよう努力がなされている。開催日についてもできるだけ多くの方に参加してもらえるように毎回日程を工夫している。	会議へ参加してもらい、事業所に対する意見を直接言ってもらうことにより、よりよい事業所運営に結びつけるため、役員の長が難しければ代わりの方を立ててもらおうなど、広く地域の声に耳を傾けるような取り組みが期待される。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	呉市の担当者の方や、介護相談員と話し合い助言をいただき、実践に努めている。	対応が困難なケースに関しては、地域包括支援センターとも対応を一緒に検討しているほか、支所の窓口には訪問した際は意見交換を行うほか、民生委員の会合において役員と顔つなぎの協力が得られるなど、行政との適切な連携を図る取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修を行い、身体拘束の弊害を理解し、玄関の施錠も日中は行わず、利用者が心地良い雰囲気でご過ごせるように、取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止のための具体的行動を掲示し、拘束予防のためのマニュアルも整備され、年に1回の研修会にて職員に周知が図られているほか、新人職員研修でも必ず周知が図られている。昼間は玄関の施錠も行わないなど、現在身体拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待は人権侵害に当たるとを理解し、虐待は刑事罰に当たるとを周知し、虐待が起こらないように取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加し、権利擁護に関する制度の理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に当たっては、利用者、ご家族に対し十分な説明を行い、疑問、不安の無いように対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議、利用者、ご家族からの要望、意見、苦情等を伺い、利用者、ご家族中心の施設となるように取り組んでいる。</p>	<p>利用者からは随時希望を聞き取っているほか、運営推進会議で出た意見を事業所の運営に反映させている。また、家族の面会時に聞き取った希望を管理者が連絡ノートで確認し、職員同士で話し合い、検討した結果を家族に報告するなど、家族等の意見を反映できるような取り組みがなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの申し出により、随時、運営に関する意見、助言を聞くように努め、向上に努めている。</p>	<p>運営に関する職員からの意見は、随時管理者が聞き取っているほか、職員ミーティングでは事前に課題を考えてくるように求め、2ヶ月に1回開催している。その結果、トイレ介助方法について職員からの改善提案があり、適切な誘導方法によって失禁が減少するなどの効果が表れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、随時、施設を訪問しており職員の意見を聞き、職場環境の改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修には、勤務扱いで行けるようにしている。研修費、交通費も支給されている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他の事業所との交流を促しており、自己研修という形で、サービスの向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人、ご家族と話し合い、不安等が無いように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	本人、ご家族と話し合い、不安等が無いように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	本人、ご家族と話し合い、様々な提案をさせていただき、本人、ご家族にとってより良いサービスの提供に努めている。グループホームでは、困難と判断した場合は、話し合っ法人内の他の施設等を紹介させていただいている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるように、努めている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	ご家族の面会時は、体調等、現在の状況を説明している。また、本人とご家族が一緒に過ごす時間を作り、良い関係が保たれるように、努めている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	本人、ご家族から過去の生活歴を伺い、利用者の生活が途切れないように努めている。ご家族との面会や外出等ができるようにしている。	入居時に家族との話し合いを行い、本人の過去の生活歴を把握するよう努めている。入居前の友人の面会や、生まれ育った地域の祭りに参加できるように支援したり、なじみの美容院へ出かけたり、行きつけの歯医者への通院ができるよう支援する取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事、おやつ、レクリエーション、行事等を通じてコミュニケーションを図り、関わり合いが持てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、利用者、ご家族とのコミュニケーションを大切に、相談、支援等に努めている。入院された場合は面会に行き、これまでの関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを大切に、利用者の気持ちを理解し、家庭的な雰囲気の中での生活に近づけるように努力している。感情表出ができるように図っている。	本人の生活歴を把握することで、例えば畑の手入れを習慣にしていた利用者に対しては野菜の手入れや草むしりを行ってもらうように誘導し、買い物が好きな利用者には近所のスーパーや野菜市に出かけ、買って来た野菜を食事メニューに反映するなど、本人の意向に配慮した取り組みがなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、及びご家族のこれまでの生活歴の把握に努めると同時に、日常生活における会話の中から、利用者には喜ばれる暮らし方の実現に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の観察、コミュニケーションを通じて、また、職員間で話し合い、利用者の方の暮らし方の現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、ご家族、職員が話し合いをして意見を取り入れて、現状に即したケアへと結びつけている。</p>	<p>介護職、看護職など、他職種の会議を行っている。介護計画を作成する際に会議を行うほか、介護の必要性に応じて随時行っている。カンファレンスシートの中に本人、家族の意向を取り入れ、介護計画の作成やモニタリングを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>申し送りノートに記録し、情報の共有に努めている。職員の申し出によりカンファレンス等を開催している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人、ご家族とのコミュニケーションを大切に、柔軟な支援ができるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域包括支援センター等と連携し、支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>法人内の林医院からの訪問診療の他に、必要な時に適切な医療が受けられるように支援している。健康状態をご家族に報告している。</p>	<p>母体法人の医療機関から週2回往診がある他、入居時に利用者や家族の意向を確認し、専門的な医療など、それまでのかかりつけの医療機関を希望される場合は、受診が継続できるようにしており、家族に通院を依頼している。家族が難しい場合は施設が通院を行うなど、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	医師、看護師と随時連絡をとっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者が入院した場合、職員が面会に行き、安心して療養できるように支援している。また、退院、再入居に備えて、病院関係者との情報交換に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時に、本人、ご家族と話し合いをしている。職員全体で方針を共有し、介護の実践に努めている。	契約時に看取りの指針を説明し、入居時点での希望を家族に確認している。実際に看取りが必要な状態になった場合、再度家族に確認し、訪問看護ステーションと連携し24時間体制で経過観察ができる仕組みができています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	職場内で、誤嚥、転倒等の急変に即した勉強会をしている。医師、看護師から、助言、指導を受けている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	法人内で、話し合いをしたり、職場内で、研修をしている。運営推進会議を通じて、地域との協力体制を築いている。	隣接する小規模多機能型居宅介護事業所とともに、年2回避難訓練を行っている。緊急通報装置も備え付け、消防署も近隣にあるほか、近隣に住む職員も多く、緊急時にはすぐに駆けつけられる体制にある。近隣とも日頃から声かけを行い、緊急時の協力の理解を得られるように努力がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の人格を尊重した声かけ等が、できるように話し合いをし、利用者の尊厳を尊重した介護を心掛けている。個人情報も、外部に漏れないように、徹底して管理している。	人格を尊重し、プライバシーが確保できるような職員の声かけ、接し方について、指導担当職員を決め、日常業務を行う中で具体的な指導を行っている。業務日報を管理者が確認し、必要に応じて職員にアドバイスを行っている。また、女性の利用者に対しては女性の職員が入浴介助を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が、自分の希望や思いを言える雰囲気作りに努めている。意思表示が困難な場合は、表情等から感情を理解し、支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一週間の予定、一日の日課等は決めているが、利用者の希望に沿った支援をしている。一人ひとりの生活のリズムに配慮し、ゆったりとした環境で生活できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の一人ひとりに応じた身だしなみ、お洒落ができるように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については、利用者の好みを伺い、行事食等を作っている。利用者の能力に応じて、食事の準備、片付け等をしていただいている。	母体法人の一ヶ月ごとに決められたメニューがあり、通常は配達されて来るものの、利用者の要望に応じて主菜や副菜を事業所で調理をしたものに変更できる。野菜の皮むきなど、食事作りを利用者とともにったり利用者の好みを把握することで食事を楽しむことのできるような取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や、水分量に注意し、食べたくない時は、無理にすすめず、食べなくなった時に食べて頂けるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きや義歯の洗浄を行っている。自分でできる利用者の場合は、声かけや見守り等を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者の自立に向けた排泄の支援を行っている。自尊心を傷つけないように配慮している。</p>	<p>排泄チェック表を使用して排泄パターンを把握し、夜間でもできるだけトイレ誘導を行い排泄の自立支援に結び付けている。その結果、オムツで入居された利用者が紙パンツとなったり、紙パンツの利用者が布パンツになるなど、排泄の自立に向けた支援が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>果物、水分補給の他、適度な運動等の支援を行っている。排便管理を行い、必要なときは薬でコントロールしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一週間の予定を決めてはいるが，本人の体調や希望を考慮した支援を行っている。入浴を楽しんでいただけるようにしている。</p>	<p>週に2回の入浴予定が決められているものの、利用者の希望により随時入浴を提供している。朝や夕方にも希望すれば入浴することができるなど、職員もできる限りの対応を行っている。脱衣場には一人ずつ入るようプライバシーにも配慮され、脱衣場に手すりを取り付けるなど、入浴しやすい環境にも配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の気持ちを大切に、自由に過ごしていただいている。安らぎのある、雰囲気作りに努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>看護師より、処方される薬の説明を受けている。職員が内服を確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>充実した一日が過ごせるように、レクリエーション等を行っている。一人ひとりの能力に応じて、食事の配膳や下膳等の役割を担っていただいている。レクリエーションへの参加は、無理には促さないようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には、利用者と共に施設の周辺を散歩している。ご家族と共に、外出していただけるように支援している。</p>	<p>敷地内にある広い畑に出るほか、天気のよい日には浜辺まで散歩に出かけたり、近隣のスーパーや花見、紅葉狩り、学校行事への参加、ドライブなど、日常的に外出ができるように支援している。希望があれば家族と共に外食ができるように配慮している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族と話し合い、本人が小遣いを持つようにしているが、認知を考慮し、困難であれば、施設で管理させていただいている。又、買い物に出かけ、欲しい物を自分で購入できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	手紙や電話など、通信が自由にできるように支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	デイルーム等の共有な空間は、利用者が気持ち良く過ごせるように清潔にし、日光、照明により、適切な光を取り入れている。季節感のあるものを飾って、落ち着けるように配慮している。	デイルームは利用者にも掃除を手伝ってもらっているほか、お花を生けるなどして気持ちのよい空間をつくっている。照明も暖かい色で、風通しや日当たりがよい建物構造となっている。また、グランドピアノが設置されて、自由に弾くことができるなど、居心地の良い共有空間づくりのための工夫がなされている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	好きな場所で自由に過ごせるようにしている。家庭的で、くつろいで過ごせる空間となるように努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人、ご家族と話し合っ、自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。利用者が、大切にしていた物に囲まれ、その人らしく、居心地の良い居室を作れるように努めている。	居室に持ち込みを禁止するものは原則なく、利用者が慣れ親しんだ物を持ち込むことができる。朝の食事時間も利用者が居室から出てきたら朝食がとれるように配慮するなど、居室で居心地よく過ごしてもらえるような工夫がなされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	利用者が、安全で自立した生活ができるように、環境を整えている。本人の安全を考慮し、手を持って歩行する等している。利用者の状況が変化したとき等、職員間で話し合い、対策を執る等している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 平成27年1月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の出席者が少ない。	運営推進会議の出席者を増やし、地域の声に耳を傾ける。	民生委員・自治会・女性会の会議にて、運営推進会議の趣旨の説明を行い参加をお願いする。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。